

1 教育目標

新たな一面の
己を磨く ～心豊かでたくましく、自ら学び続け、組織の中で、創造性を輝かせる生徒の育成～

2 学校経営方針

日本国憲法・教育基本法等関係法令及び県・市の教育方針を踏まえ、教育の中心に生徒を据え、ふるさとに誇りを持ち、徳・知・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。それで、私たちは「生徒の可能性」を信じ、生徒の持って生まれた力を引き出すため、深い愛情を持って日々教育活動に邁進したい。予測困難な未来を生きる生徒に、主体性（気づく・考える・動く）を身に付け、夢の実現に向かって努力する生徒の育成を目指す。今年度も「校訓」を拠り所にした学校経営を行い、生徒に「確かな学力」と「社会性」をPDCAサイクルの実践を通して育成する。

- 自律 「主体性の育成」 当事者意識を持たせ、継続している仕事・新しい仕事を自分から見つけるように促し、主体性（気づく－考える－動く）の育成に取り組む。
○自己有用感 ◎人前力 ○あいさつ ○学力
- 共生 「思いやり（多様性）の育成」 人の痛みがわかり、違いを個性として認め（多様性）、いじめや差別のない、生徒が安心して学べる居場所づくりを行い協働性の育成に取り組む。
○学級づくり ○多様性 ◎思いやりを持って調整する力
- 創造 「本気の経験での感動」 涙が出るほどうれしいことや悔しいこと等の感動的な体験を経験させ、常に向上心を持って創造し続けようとする意欲の醸成に取り組む。
◎発達段階に応じた課題 ○生徒中心の活動 ○振り返り（自己分析）

4 自己評価

領域	項 目		アンケート集計			分析及び改善策
		質 問 内 容	肯定的割合(%)			
			生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	学校は教育目標「己を磨く」を達成している。	97%	87%	100%	新たな一面の「己を磨く」という学校教育目標の周知徹底は前年度以上に図られ、組織の中で「思いやりを持って調整する力」を視点にした評価である。今後も学校教育目標を中心とした学校経営を具体的な取組として継続していきたい。
	学校の雰囲気	学校は明るく楽しい雰囲気である。	89%	95%	100%	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している。			100%	
	業務改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している。			100%	
心の教育	生活・生徒指導	生徒は生活のきまりなどルールやマナーを守って生活している。	96%	95%	80%	規律面・情緒面に関しては概ね良好となった。特定の生徒の頑張りだけでなく、生徒一人ひとりに、自己肯定感や達成感を感じさせる仕掛けが教育活動全体で行ってきた成果が出てきている。今後も自信や向上心につながるよう引き続き取り組んでいきたい。いじめ・悩みなどの課題に関しては、常に配慮し、家庭と連携を図りながら未然防止に全力を傾けており、生徒、保護者、教職員全ての意識も高まった。
	生活・生徒指導	生徒は時と場に応じたあいさつと言葉遣いをしている。	99%	94%	100%	
	生活・生徒指導	生徒は課題や提出物を、期限を守って提出している	83%	86%	100%	
	生活・生徒指導	教職員は生徒の悩みや相談に親身になって対応している。	97%	92%	100%	
	いじめ防止対策	学校はアンケートや教育相談などいじめ防止のための対策をとっている。	98%	96%	100%	
	人権教育	生徒は生命や人権を尊重する心が育っている。	99%	96%	100%	
	平和教育	生徒は平和を尊重し、その思いを発信しようとしている。	91%	86%	100%	
	特別支援教育	教職員は生徒の教育的ニーズに応じた指導を行っている。	98%	85%	100%	
	自己肯定感	生徒は自分の良さが分かっている	72%	83%	80%	
	ボランティア	生徒は地域の行事やボランティア活動に参加している	68%	77%	100%	
確かな学力	特色ある学校づくり	学校は伝統や地域の実態を踏まえ、特色ある教育を行っている。	95%	84%	80%	授業形態の改善に教職員は日々取り組んでいる。「主体的な学び」が重視され、自主学習を中心とした家庭学習の在り方や学習者支援端末の活用、AIドリルの利用など今年度も学校全体として目標数値をかなり上回る成果を出している。今後もこれまで通り努力し、個別最適な学習方法の定着を目指すしていく。
	学習指導・教育課程	教職員はわかりやすい授業を行っている。	95%	86%	100%	
	学習指導・教育課程	生徒は家庭学習の習慣が身に付いている。	82%	75%	80%	
	学習指導・教育課程	生徒はテレビやゲームなどの時間を家の人と決めている。		73%		
	キャリア教育	学校は将来の自立に向けて進路や職業について指導している。	95%	86%	100%	
	キャリア教育	生徒は自分が住んでいる地域や長崎が好きである。	86%			

健やかな体	保健・衛生	学校は環境衛生の管理に努め、健康に関する指導を行っている。	95%	91%	100%	昨年度同様、コロナ感染拡大防止・熱中症対策・インフルエンザ感染防止に追われた年度であった。健康環境の保全や自分自身の健康維持増進に自ら考える指導などの一層の充実を図りたい。
	体力向上	生徒は早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いている。	71%	86%	100%	
	体力向上	学校は生徒の体力向上に努めている。	99%	95%	100%	
	食育	学校は食に関する指導を行っている。	95%	96%	80%	
信頼される学校	安全管理	学校は生徒の安全や命の大切さに配慮した指導を行っている。	100%	95%	100%	各種通信・HP・テトルなどでの啓発活動に努め、情報を発信することができた。HPには年間1万人以上のアクセスがあった。安全対策については、地域・関係機関との連携を図りながら努めることができた。今後も継続していく。
	情報提供	学校や生徒の様子は通信やHP等で知らせている。	98%	88%	40%	
	PTA・地区との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている。	98%	86%	100%	
	職員の資質向上	研修が充実し、教職員の資質が向上している。			80%	
教育環境	環境整備	学校施設や道具は整備されている。	85%	83%	100%	安全点検を徹底し、早期発見に努めている。専門業者への修理依頼ばかりでなく、施設・道具等の取扱いについても生徒に考えさせることもあった。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。			100%	
その他		私は、三川中学校の「校訓」が言える。	90%			※本校独自
		私は、三川中学校の「校訓」を意識して学校生活を送っている。	82%			
		私は、主体性(自分で考えて行動する。)が以前より身に付いている。	89%			
		私は、人前力(授業中の発表や係活動等)が以前より身に付いている。	87%			
		私は、周りの人の考えや行動を認めようと心がけている。	100%			

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

○学校教育目標『新たな一面の！——己を磨く——』を実現するために、本校では『人前力（自ら気付き・考え・実行（表現）する）』の育成に努めているという点は、周知徹底が図られている。自分にとって何を学ぶべきか ○生徒会活動を中心に、さまざまな取組を行っているが、生徒のリーダーの育成と生徒自ら組織力を高めるための方策を教師がどのように指導するか、あるいは、個に応じた役割分担をどのようにやっていくかが課題であ ○学力向上・授業改善に関しては、三川スタンダードを基準に、規律・めあてとまとめ・自主学習といった点に関しても確実に指導してきた。学力調査等でも学力改善向上プランの実践により、顕著な向上が見られた。学習

6 学校関係者評価

○部活動にも、部員数の減少等もありながら、競技で好成績を残している点は、素晴らしいと感じる。 ○地域内での生徒の様子は、あいさつなどしっかりとしている。地域行事として、門松づくりや各地域のまつりなどボランティア活動などに積極的に参加している。小さい子供たちも生徒の様子をよく見ており、お手伝いもしている。つながりができているのを感じる。今後も引き続きお願いしたい。 ○通学路に関しては、危険な場所があり、注意喚起が必要である。 ○数名の不登校生徒に関しては、本人ばかりでなく保護者のケアにも努めてほしい。 ○通学路に関しては危険な場所があり注意喚起が必要。 ○縦・横の人間関係（親子・友人）のつながりが必要と感じる。そのつながりを学校や家庭・地域で育む必要があると思われる。 ○各種アンケートではできた・できなかったの回答形式ばかりでなく「自由欄」があった方がいいと感じる。
--

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

○学校教育目標を中心とした教育活動の展開については変わることなく、今後も生徒・保護者・教職員・地域一体となって取り組んでいく。 ○地域内での生徒のあいさつは良好である。本校の立地から野生動物の遭遇や暗がり、凍結時の危険などがある。あいさつ運動を兼ねて地域から危険個所を情報提供してもらうことができた。今後も家庭・地域と連携しながら安心安全な学校運営に努めたい。 ○地域行事にはさらに積極的に参加できるようになった。今後も地域で活躍する中学生の姿が多くみられるようにしていく。 ○生徒減少の中ではあるが、学習面・生活面の両面から個に応じた指導や支援が可能となる面がある。学習端末の通常活用ができるようになり、個別最適な学習が進んできた。学習を支える生徒指導部会や特別支援部会が、各関係機関とも連携しながら一層組織的な指導体制ができるようになってきた。今後も切れ目のない生徒支援を行えるように努めたい。
